施設利用規約

第1条（定義）

この利用規約は、広島国際大学(以下「本大学」と略記)のAWC(Active Wellness Center)におけるトレーニングルーム1・2（以下「本施設」と略記)の利用について定めるものとする。

第2条（施設の使命）

利用者の健康増進や競技力向上につながる安全かつ効果的な支援を提供する。また、利用者自身がこれらの支援を提供できる能力を涵養できる教育・学修の場所としての機能を果たすものとする。

第3条（管理運営）

原則として、本施設は本大学の健康スポーツ学部が主に管理運営する。

第4条（利用資格）

1. 本施設を利用する者は、本項の1)かつ2)に該当する者、あるいは1)かつ3)に該当する者であって、施設利用規約(以下「本規約」と略記)および別に定める施設利用ルール(別紙)を遵守しなければならない。また、第2条に定めた通り、「健康増進や競技力向上につながる安全かつ効果的な支援を提供できる能力を涵養」しようとする者である。加えて、第5条に定める「初回の利用手続き」をおこなうものとする。その他、特別に認められた者に関してはこの限りではない。
 - 1) 医師から運動を禁じられていない者。
 - 2) 原則として本大学に在籍する学生、または職員として従事している者。
 - 3) 本施設を利用する授業に参加する学生。
2. 利用者は、本施設に対し、現在または将来にわたり、自らが本項の以下各号に定める暴力団等の反社会的勢力(以下「反社会的勢力等」と略記)に該当しないことを保証することとする。
 - 1) 暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む)。
 - 2) 暴力団準構成員。
 - 3) 暴力団関係企業に所属する個人または団体。
 - 4) 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロに所属する個人または団体。
 - 5) その他前各号に準ずるもの。

第5条（初回の利用手続き）

初めて本施設を利用する場合、以下各項に示す本施設のスタッフが実施する利用者講習会(以下「講習会」と略記)を受講しなければならない。そして、講習会終了後に受講証明書カードを受け取り、次回以降に利用する際には受講証明書カードを提示しなければならない。

1. 本規約の重要事項の説明。
2. 本施設の「施設利用ルール(別紙)」の重要事項の説明。
3. トレーニング器具の使用方法および安全面に関する事項の説明。
4. 利用承諾書兼登録用紙および健康調査票等の記入・提出。
5. その他必要に応じた情報を追加で説明。

第6条(2回目以降の利用手続き)

本施設の利用を希望する者は、本施設のスタッフに対して受講証明書カードを提示しなければならない。管理スタッフが学生証あるいは職員証の提示を求めた場合には、速やかに応じなければならない。受講証明書カード、または学生証あるいは職員証を提示できない場合は本施設の当日利用ができないものとする。

第7条(本施設のスタッフによる指導)

1. 本施設の利用者に対し、器具等の使用方法や安全面に関するアドバイス等を行うことがあるが、個別指導は原則おこなわないものとする。
2. 第4条第1項3)に定める本大学の授業に参加する学生に関しては、個別指導やグループ指導をおこなう場合がある。

第8条(利用違反)

施設利用規約(本紙)に違反した場合や、施設利用ルール(別紙)の禁止事項を犯した場合、本施設のスタッフの指示に従わない場合等は、利用者に対して利用資格を取り消し、本施設から退出してもらうことがある。施設利用ルールの禁止事項等について、安全管理および施設管理上において軽微な違反があった場合は、管理スタッフによる口頭または文書等で警告をし、以下のように対応するものとする。

1. 違反1回目は、違反した事項およびその目的についての説明、2回目の違反があった時の対応の通告をする。
2. 違反2回目は、違反があった日を含めて1週間の施設利用禁止とする。違反した事項およびその目的についての説明、3回目の違反があった時の対応の通告をする。
3. 違反3回目は、違反があった日を含めて1ヶ月間の施設利用禁止とする。違反した事項およびその目的についての説明、4回目の違反があった時の対応は管理運営者が協議のうえ通告する。

第9条(本施設の損害賠償責任免責)

1. 利用者が本施設の利用中、利用者自身が受けた損害に対して、本施設に故意または過失がある場合を除いて、本施設は当該損害に対する責任を負わないものとする。
2. 利用者間に生じたトラブル等について、本施設に故意または重大な過失がある場合を除いて、本施

設は一切関与しないものとする。

第10条（利用者の損害賠償責任）

利用者が本施設を利用中、利用者の責に帰すべき理由により本施設にある機器等や第三者に損害を与えた場合は、その利用者が当該損害に対する責任を負うものとする。

第11条（利用資格喪失）

利用者は、次の各項に該当した場合、その利用資格を喪失し利用者としてのすべての権利を喪失する。

1. 施設利用規約(本紙)に違反した場合、または虚偽の申告をおこなった場合。
2. 本施設スタッフによる度重なる注意でも改善がなかった場合。
3. 利用者本人が死亡した場合。
4. その他、本施設の利用者として適切でないと認められた場合。

第12条（施設の一時的閉鎖・一時的休業）

次の各項に該当する場合、本施設の全部または一部の閉鎖とする。

1. 天災地変、その他外因的事由等により、その影響が利用者または管理スタッフに及ぶと判断された場合。
2. 施設の増改築、修繕または点検等によりやむを得ない場合。
3. その他、法令等に基づく関係部署からの指導等、重大な事由によりやむを得ないと本施設が判断した場合。

第13条（刺青・タトゥーに関して）

本施設の利用にあたっては、原則として刺青・タトゥーを露出しないようにすること。

第14条（施設利用の制限および禁止）

次の各項に該当する場合は、施設利用を制限もしくは禁止とする場合がある。

1. 飲酒あるいは薬物使用等により、正常な施設利用ができないと本施設スタッフが判断した場合。
2. 集団感染する可能性のある疾病を有することが判明もしくは判断された場合。

*集団感染する可能性のある疾病とは、空気感染を起こす感染症・病原体（結核、麻疹、水痘）および飛沫感染等を起こすインフルエンザウィルス、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、その他、流行性角結膜炎等（はやり目）、感染性胃腸炎等のこと。

3. 医師から運動を禁止されていることが判明した場合。
4. 妊娠していることが判明した場合（特にトレーニングの制限がされている場合）。
5. 一時的な筋肉の痙攣や、意識の喪失等の症状を招く疾病を有する場合。

6. その他、正常な施設の利用ができないと本施設スタッフが判断した場合。

第 15 条（NSCA 又は JATI の資格を取得した学生による管理および利用について）

1. NSCA または JATI 各団体が発行する資格（NSCA-CPT、CSCS、JATI-ATI 等）を取得した健康スポーツ学部所属の学生（以下「資格取得学生」と略記）が管理をおこなう際、当該時間は監視者に徹さなければならない。
2. 資格取得学生が監視をおこなう場合、監視者証明書を公示しなければならない。
3. 資格取得学生が監視できるトレーニングルームを利用する学生は健康スポーツ学部の所属に限定する。
4. 資格取得学生 1 名が監視できる利用者数は 10 名を上限とし、複数の資格取得学生が監視する場合は最大 20 名とする。
5. 資格取得学生は利用する学生に対し指導をすることができる。
6. 資格取得者のみでトレーニングルームの利用をする場合は原則 3 名以上常に在室しなければならない。ただし、円滑な管理上やむを得ない一次的な退出は除く。

第 16 条（運営システムの変更）

1. 本施設の運営システムについて、第 3 条に定める組織が変更または改定を必要とすると判断した場合は、本規約を含めてこれらを変更することができる。
2. 施設運営システムを変更する場合は、原則として 2 週間前までに告知する。
3. 改定した本規約を含む本施設の運営システムの効力は、全利用者および管理スタッフに及ぶものとする。

以上

2020 年 11 月 20 日 施行

2023 年 8 月 2 日 改正

2025 年 3 月 12 日 改正